

(別紙4(2))

事業所名 認知症高齢者グループホームじょうさい

目標達成計画

作成日: 平成 30年 3月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の理念を基本としながら、地域密着型のグループホームという視点を考えながらホーム独自の理念・目標などについても検討に期待したい。	グループホームの理想の姿を描き、統一した方針のもと同じ方向を向き職員が利用者様の支援が出来るように理念・目標が明確になる。	まず、理念がパンフレットに表記あることを職員に周知する。その次として実際の支援につながるように介助場面で一つ一つ方向が確認できるように職員へ声掛けを行う。	3ヶ月
2	13	ホームが立地する地域は水害が想定されている事もあり、水害を想定した訓練の実施に期待したい。あわせて地域の方との協力関係の取り組みにも期待したい。	消防訓練のみでなく災害訓練を行う。また、地域の方にも訓練開催のアナウンスを行い、地域で支えあえるようにする。	1年に1回災害訓練を行う。	12ヶ月
3	18	開設1年目であったこともあり、外出の機会は限られた範囲であった。職員体制が整い利用者の様子を見ながら2年目以降に外出行事等の機会が増えることに期待したい。	利用者様の外出の機会を増やし、地域の一員となる事が出来る。	1年目より外出の機会を多く確保する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。